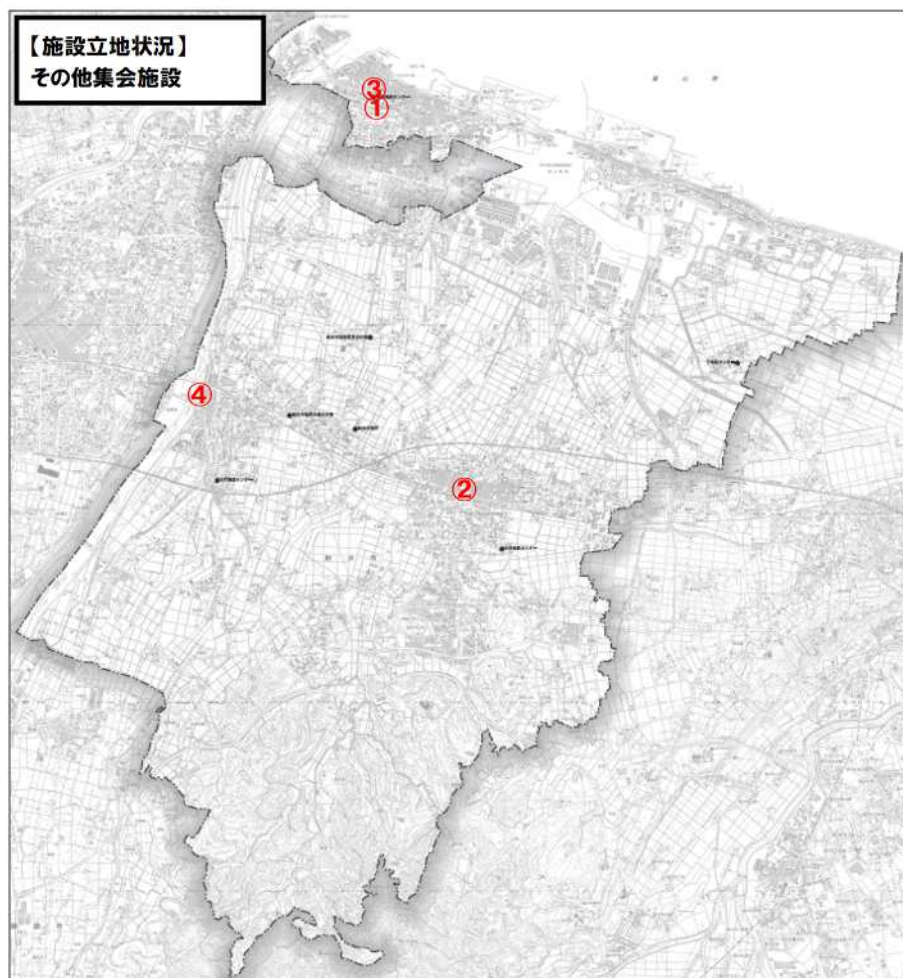


(2) その他集会施設

大分類	小分類	対象施設
市民文化系 (34)	その他集会(4)	新湊交流会館、いみず市民交流プラザ、観光交流センター、庄川水辺の交流館

配置状況



新湊交流会館
 いみず市民交流
 プラザ
 観光交流センター
 庄川水辺の交流館

施設の役割

・新湊交流会館

新湊交流会館は、市民活動の活性化及び市民相互の交流促進を図り、市民生活の向上及び住み良い地域社会づくりの推進を目的に、平成 8 年度に供用開始した施設です。最大 75 名が収容できるホールや研修室等の貸室のほか、隣接していた旧新湊福祉会館を平成 21 年度に廃止・解体したことに伴い、射水市社会福祉協議会新湊支所が移転・入居し、併せてボランティアルームや多目的トイレ等を増築しました。

こうした経緯から、当施設は新湊地区のボランティア・福祉活動の拠点となっており、視覚障がい者のための広報の録音作業なども行われています。

・いみず市民交流プラザ

いみず市民交流プラザは、地域福祉、生涯学習等の分野において市民が交流できる場を創出し、もって市民生活の向上及び地域の活性化を図ることを目的とした施設です。平成 30 年度から令和元年度にかけて旧小杉社会福祉会館を再整備し、現在に至ります。

最大 424 名が収容できるふれあいホールや研修室、会議室、キッチンスタジオ、和室、屋上を利用した青空ひろばのほか、2 階には、射水市社会福祉協議会、射水市商工会、射水市中心身障害者連合会、射水市老人クラブ連合会及び射水保護司会の事務所が入居しています。

・観光交流センター

観光交流センターは、射水ベイエリアの新たな観光交流拠点として、本市の魅力発信及び市民と観光客との交流の場を創出し、観光振興及び地域活性化を図ることを目的とした施設です。本センターが入居するクロスベイ新湊は、PPP の手法により整備された施設で、その施設の一部を民間から賃貸して運営しています。

施設には、最大 240 名が収容でき、コンベンションや各種イベント等に活用できるコンベンションホールや創業者支援を目的としたシェアキッチン、新湊地区の交通拠点となる公共交通ターミナルが整備されています。

・庄川水辺の交流館

庄川水辺の交流館は、庄川を訪れる様々な人にトイレや休憩場として利用されています。現在、管理・運営を大門地域振興会に委託しており、令和元年度から同地域振興会が主体となり朝市が開催されるなど、地域の交流、賑わいの場としても活用されています。

老朽化状況と過去の工事等の履歴

対象施設の老朽化状況と過去に実施した主な工事等は、以下のとおりです。

(凡例... A : おおむね健全 B : やや劣化 C : 劣化 D : 著しい劣化)

	施設名	老朽化状況		主な工事等(着工年度)	
			特記事項		
1	新湊交流会館	敷地・地盤	B	・舗装・外構等の劣化	・増築工事(建築主体工事)(H22) ・増築工事(電気設備工事)(H22) ・増築工事(機械設備工事)(H22) ・2階大ホール北側系統空調機更新工事(H29) ・昇降機改修工事(R1)
		外部	B	・基礎等の劣化	
		屋上・屋根	B	・屋根材の劣化	
		内部	B	【内装】 ・内壁・天井等の劣化	
			D	【設備】 ・空調の劣化	

	施設名	老朽化状況		特記事項	主な工事等（着工年度）
2	いみず市民交流プラザ	敷地・地盤	A		<ul style="list-style-type: none"> ・改修・改築（建築主体）工事（H30） ・改修・改築（電気設備）工事（H30） ・改修・改築（機械設備）工事（H30）
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
3	観光交流センター	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		
4	庄川水辺の交流館	敷地・地盤	A		
		外部	A		
		屋上・屋根	A		
		内部	A		

老朽化状況は、原則として建築基準法第 12 条の規定による定期調査の結果を参考に記載しています。

施設の課題と今後の方向性

・新湊交流会館

新湊交流会館の稼働率は、令和元年度から指定管理者が変更し、大幅に改善しています。（稼働率：平成 28 年度 8.4% 令和元年度 40.9%）

同会館は平成 7 年度築、一部は平成 22 年度に増築（RC 造）と比較的新しく、また耐用年数が 50 年と長い建物であることから、引き続き適切に保全していきます。ただし、長期的には新湊地区の福祉活動の場としての機能に配慮しつつ、周辺施設を含めた在り方を検討します。

・いみず市民交流プラザ

いみず市民交流プラザは、市民交流の拠点施設として多くの方の利用を見込んでいます。今後は、より積極的なイベント開催や近隣のホテルと連携したコンベンションの誘致、更には射水市社会福祉協議会と射水市商工会が入居している強みを生かした「商福連携」の取組の促進など、稼働率の向上と多様な団体が入居することによる相乗効果の発現に取り組めます。

・観光交流センター

観光交流センターは、観光客を受け入れる交流拠点として、にぎわいを創出し地域活性化を図るために整備され、多くの方の利用を見込んでいます。

また、令和 4 年度中には、センターに隣接してホテルが開業予定であり、施設をそのホテルと連結し、互いのメリットを生かしながら相乗効果でまちの活性化を図ります。

・庄川水辺の交流館

庄川水辺の交流館は、現在のところ施設の老朽化等は見られません。引き続き、施設管理を委託している大門地域振興会と連携し、適切な維持管理・運営に努めます。

具体的な対策と実施時期

【施設概要の凡例】

- ・経過年数：令和3年4月1日時点の経過年数
- ・構造：S（鉄骨造） RC（鉄筋コンクリート造） SRC（鉄骨鉄筋コンクリート造） W（木造）
- ・耐用年数：「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」（昭和40年大蔵省令第15号）で、構造や用途によって定められている耐用年数に基づき市の固定資産台帳に記載したもの
- ・その他：令和元年度実績（稼働率：利用時間 / 利用可能時間）

	施設名	施設概要				実施時期	短期					
						年度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)	
1	新湊交流会館	建築年度	平成7 (1995)	延利用者数	12,926人	経過年数						築後30年
		増築年度	平成22 (2010)	維持管理費	13,323千円	経過年数 (増築部分)						
		経過年数	26	維持管理費/ 延利用者数	1,031円/人	取組内容	空調改修・外壁補修等					
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	40.9%							
地域福祉課	延床面積	745.13㎡	避難所収容 可能人数	257人	概算事業費	5百万円	23百万円					
2	いみず市民 交流プラザ	建築年度	昭和53 (1978)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	令和1 (2019)	維持管理費 (R3予算額)	19,312千円	改修後年数						
		経過年数	43	維持管理費/ 延利用者数	—	取組内容						
		構造/ 耐用年数	RC/50年	稼働率	—							
地域福祉課	延床面積	3,092.83㎡	避難所収容 可能人数	730人	概算事業費							
3	観光交流 センター	建築年度	令和2 (2020)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費 (R3予算額)	39,577千円	取組内容						
		経過年数	1	維持管理費/ 延利用者数	—							
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
港湾・観光課	延床面積	2,293.83㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費							
4	庄川水辺の 交流館	建築年度	平成19 (2007)	延利用者数	—	経過年数						
		改修年度	—	維持管理費	1,571千円	取組内容						
		経過年数	14	維持管理費/ 延利用者数	—							
		構造/ 耐用年数	S/38年	稼働率	—							
用地・河川管理課	延床面積	236.00㎡	避難所収容 可能人数	—	概算事業費							

注：各工事等の実施時期や内容は、現在想定される目安であり、今後の社会経済情勢等の変化や総合計画等の見直し等により、大きく変動する可能性があります。また、概算事業費は、同種工事の直近の単価等を基に機械的に試算したものであり、財政見直し等との整合を図ったものではありません。

中期（前半）			中期（後半）					特記事項
R8(2026)	R9(2027)	R10(2028)	R11(2029)	R12(2030)	R13(2031)	R14(2032)	R15(2033)	
				築後20年 (増築部分)				長期的には、新湊地区の福祉活動の場としての機能に配慮しつつ、周辺の公共施設を含めた在り方を検討していく。
		築後50年 耐用年数						
			改修後10年					
				築後10年				
	築後20年							

